

令和4年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価報告書

令和4年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価結果

○調査対象: 保護者(施設アンケート結果103世帯)、保育・給食・保健部門職員(自己評価結果43名事務・用務・短時間職員を含む)

上記保護者、職員の評価資料と経営、教育・保育内容の説明及び施設見学による、学校関係者評価委員6名(1名別時間)の評価結果です

学校関係者評価結果【3段階評価:A・・・よい B・・・一部検討を要する C・・・改善を要する】

評価項目	領域	学校関係者評価(○成果 ▲課題)		
		コメント:(訪問日)11/11(評価者)学校評価委員6名	3段階評価	今後の取り組むべき課題
I 教育・保育目標について	教育・保育目標の具現化に向け乳幼児の実態を踏まえた(事業計画における「重点目標」)の設定となっていますか。	○園日より、写真の近くと今何に取り組もうとしているか。先月は何に取り組んでいたのかが保護者にも伝わりやすい。 ○いつ見ても素晴らしい目標です。 ○年一回の保護者アンケートの回答をもとに、小さな事でも改善する姿勢がありとても良い。	A	保育・教育基本方針は職員の行動規範です。様々な機会に保育目標の説明責任を果たすと共に、家庭や地域での生活を含めた園児の生活全体が、より豊かなものとなるよう努めてまいります。
	目標は、園や地域の特色を生かしていますか。		100%	
	目標は、社会の要請や保護者の願いを反映していますか。		B	
II 教育・保育に対する指導について	日頃の活動は「指導計画」(「今月の保育の進め方」玄関掲示参照)を作成し実践しておりますが、子供達の実態に即した活動が見られていますか。	○全体での活動はもちろん、個人で何をしたいのかという気持ちを大切にされていた。自主的に玩具が出せる環境もよい。 ○隅々までよく考えられていると思います。 ○各年齢に合わせたあそび、生活スケジュールが組まれていて、とても良いと思います。	A	子供達の主体性をテーマに取り組んできた園内研修は、三年になりました。引き続き子供の好奇心が育まれ、探究心へと発展していくよう環境構成への考え方の研鑽を積み重ねてまいります。
	各年齢にあった環境を整備し、教育・保育の内容や方法に配慮されていますか。		100%	
	教材・教具が、子供達にとって使いやすいように扱われている様子がみられますか。		B	
III 行事について	園全体の行事の種類や実施回数は、参加しやすいように日程など配慮されていますか。(七夕夏祭り、運動会、発表会等)	○保護者の意見から伝わりやすさについてお話があったが、初めての人にも伝わるようにと考えてらっしゃり大切なことと思う。 ○コロナ禍でも参加人数も制限しながら開催されているので、昨年と比べるとだいぶ緩和されたと思う。 ○熟考の上の予定表だと思います。 ○年間行事のお知らせがしっかりされているので、急な対応しなくて良いのかと思います。 ▲保育参加の時期についての考えなど回答に少し加えて頂くと更に理解が深まると思います。	A	新型コロナウイルス感染症は第8波がやってきました。そうした中、これまでの感染症対策へのご理解とご協力のもと、園行事を実施することが出来ました。これからもその取り組みを継続してまいります。また、各クラスごと行事の日程については、次年度以降熟慮し計画してまいります。
	行事のねらい(案内文書に掲載)を計画や実施に十分生かしていますか。		100%	
	保護者の思いや意見をとりいれていますか。		B	
IV クラス経営・保健安全指導・給食について	基本的な生活習慣やマナー・ルールを身につけられるような指導が行われていますか。	○食について、食べるだけでなく、野菜を育て目で見る、体験するという活動は素晴らしいと思う。交番や消防との関わりを子供達が行う事で身近に感じられている。先生達が挨拶をしている姿を見て子供達も挨拶出来る子が多いように感じる。 ○子供達が健康で安全に生活できるように工夫されていると思います。掲示物で確認できるので、一目で分かりやすくなっていてとても良いです。 ○クラスのお知らせや掲示物など見やすく、見忘れしにくい場所に設置されていると思う。また、体調不良時などは早すぎる対応の時もありますが、早急な対応で良いと思う。 ○給食への意識計画、実践素晴らしいと思います。避難訓練も毎月計画されており、より安心感を感じます。 ▲「乳幼児の安全確保のため、～連携を図っていると感じますか。」の項目については、コロナ禍もあり実感として感じづらいということなのかと思います。	A	職員の挨拶のあり方に対し、委員会に参加いただいた方々からお褒めの言葉をいただきました。引き続き大人が見本となり、子供自身の自己肯定感に繋がっていくよう、笑顔の挨拶を実行してまいります。 また、今年度から保護者の方々への伝達方法を改善してきました。場所や伝え方等々、読み手の位置に立ちながら、今後も検討してまいります。 地域社会・関係機関等との連携に関しては、園日よりやHPに活動内容を取り上げ、実施した内容に触れ感じていただけるよう対応してまいります。
	同年齢及び異年齢児の効果的な活動の充実を図られていますか		83%	
	家庭へのお知らせや掲示物は、時期、内容、分かりやすさ、見やすさ等適切ですか。(園日より、クラスからのお知らせ、保健衛生のお知らせ、掲示物等)		B	
	園生活における、お子さんの健康管理(けがの対応、体調不良を訴えた際の対応も含め)は、適切ですか。		17%	
	子供達や職員は、危機管理に関する訓練(避難訓練・交通安全指導・防犯訓練等)を計画に基づいて適切に実施していますか		C	
	給食は、子供達が楽しむ工夫がされ、おいしく安心して食べる事ができていると感じますか。(保育参加での様子、給食展示、園日よりなどを通し、献立内容や給食便りを発行)		0%	
乳幼児の安全確保のため、家庭地域社会・関係機関等と連携を図っていると感じますか。				

令和4年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価報告書

令和4年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価結果

○調査対象: 保護者(施設アンケート結果103世帯)、保育・給食・保健部門職員(自己評価結果43名事務・用務・短時間職員を含む)

上記保護者、職員の評価資料と経営、教育・保育内容の説明及び施設見学による、学校関係者評価委員6名(1名別時間)の評価結果です

学校関係者評価結果【3段階評価:A・・・よい B・・・一部検討を要する C・・・改善を要する】

V	情報・施設・設備の状況について	乳幼児や保護者に関する個人情報適切に取り扱っていますか。(個人情報保護規定に沿って実施)	○子供達が自ら片付け出来るよう写真等も貼ってあり、しっかりと整理されている。 ○園の考え方に賛成します。 ○とても良いです。	A	園庭の大型遊具は当施設の事業計画の下、今年度12月に追加工事を実施いたしました。来春には子供達がこれまで以上に興味を持ち、心身共に育まれるような園庭活用を行っていきます。	
		遊具・用具・教材等を、活用しやすいように整理・保管していますか。		100%		
VI	家庭・地域社会との連携について	お子さんの園での様子について、保育教諭と情報交換は行われていますか。(送迎時、連絡帳、個人面談、保育参加等)	○交流については大変喜んでいる。バスでの移動でなく、歩いて行くのも地域を知るのに役立っていると思う。 ○先生方はよく情報提供してくれていると思う。コロナ禍で交流回数は減ってしまうのは残念だが、何か社会学習となる別の交流機会を新たに設けてくれてありがたいです。 ○高齢者施設の方々も楽しみにしていることと思いますが、無理のないよう検討して行って下さい。 ○園外の活動が合って小さい時期から社会性を身につけられて、とても良いです。	B		
				子供達の社会性を育てるため、地域の方々との交流(高齢者施設の訪問、仁井田交番等公共機関の見学、地域の方々との避難訓練、町内散歩等)を持つ機会がありますが、お子さんは喜んでいきますか。 ※コロナの影響で回数が減		100%
				小中学生・高校生(職場体験・インターシップ)との交流をお子さんは喜んでいましたか。		0%
				C		
				0%		

今年度こども園では、コロナ禍の影響等ありながらも、感染症対策・対応等の工夫を重ねながら、子供達の育ちや発達に十分に図られるような経験や体験を第一に考えて、諸活動が出来るように実践いたしました。また、昨年度いただいたご意見等を参考にしながら、改善を図られるよう意識的に取り組んでまいりました。

結果としては、委員の皆様方からは評価項目全般において過大な評価をいただいたと感じておりますが、細かにご意見いただいた内容を検証し、これまで以上に施設の教育・保育目標と共に保育実践を利用者へ理解、共感していただけるような工夫と配慮に努めていきます。

現在、社会環境において、子供達や就学前施設に関わる様々な報道等がなされております。改めて、私達は実践する(している)事業対応や子供達への関わり方について、利用者の方々との認識や想いを共有化していく機会と心懸けが必要ではないかと考えます。

今後も、施設として取り組むべき課題を全職員で共有化し、継続的に評価・反省をしながら教育・保育の質を維持、向上できるように励んでまいります。

あおぞら幼保連携型認定こども園 園長 上村 清吾

